

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 4 7	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Beer ethanol consumption and plasma homocysteine among patients with type 2 diabetes. 2型糖尿病患者におけるビールによるエタノール摂取と血漿ホモシステイン	
執筆者	
Sakuta H, Suzuki T, Ito T, Yasuda H.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetes Res Clin Pract. 2007 Nov;78(2):202-7.	
キーワード	
2型糖尿病患者、エタノール、ビール、ホモシステイン	
要 旨	
<p>筆者らは 2 型糖尿病患者においてビールやその他のエタノール摂取と血漿ホモシステイン量の相関を解析した。腎症のない男性 242 名の 2 型糖尿病患者で試験を行った。患者のトータルのエタノール摂取は 1 日当たり 35.1 ± 37.8 ml であり、13.9 ± 15.2 ml がビールからのエタノール摂取、21.2 ± 32.1 ml がビール以外からのエタノール摂取であった。トータルのエタノール摂取、ビール以外からのエタノール摂取はいずれもホモシステイン量と相関があったが、ビールからのエタノール摂取とホモシステイン量には逆相関の傾向が見られた。1 日当たり 30 ml のエタノール摂取によってホモシステインがトータルエタノールでは $0.6 \mu\text{mol/L}$、ビール以外のエタノールでは $1.1 \mu\text{mol/L}$ ほど上昇し、ビールによるエタノールでは $0.7 \mu\text{mol/L}$ 減少する。ビール以外の酒類だけを飲むヒトに比べて、ビールだけを飲むヒトの血漿ホモシステイン量は低かった (ビールのみ $8.9 \pm 1.9 \mu\text{mol/L}$、ビール以外のみ $11.5 \pm 5.5 \mu\text{mol/L}$)。ビールによってエタノールを摂取するヒトに比べ、ビール以外のエタノールを摂取するヒトはホモシステインの影響の点から見ると健康ではないかもしれない。</p>	